

紙ポットを利用したイチゴの花芽分化促進技術

[研究のねらい]

近年開発された古紙パルプを成形した紙ポットは、透水性と生分解性をもち、紙ポットで育苗したイチゴ苗（写真 1）の花芽分化は慣行のポリポット苗より早まる傾向がみられています。ここでは紙ポットを利用したイチゴの花芽分化促進技術を確立します。

[研究の成果]

- ①イチゴ苗を紙ポットで育苗すると、培地温度が低下するとともに葉柄硝酸イオン濃度の低下が促進されポリポット育苗より花芽分化時期や、開花時期、収穫時期が早くなります（表 1、図 1、図 2）。
- ②紙ポット育苗では苗の肥大を促すため、ポリポット育苗の 1.5 倍程度の施肥を行います。
- ③紙ポットはポリポット苗より第 2 果房以降の収穫開始も早く、早期収穫による増収増益が期待できます。
- ④紙ポットは通気性に富むので根腐れが少なく、根巻きも発生しません。また、ポットは吸水性が高いため、炭そ病対策として有効な底面給水方式でも容易に育苗できます。

[成果の活用面・留意点]

- ①紙ポットの容量は 3 号鉢（350ml）と同じです。本ポットは「花菜ポット 20（大石産業株式会社）」として市販されており、本技術導入には 10a 当たり紙ポット代 2~3 万円（1 ポット 2.5 円）が必要です。
- ②ポット内が乾きやすいため頭上灌水では、1 日 3 回灌水が必要です。
- ③育苗トレイ等を利用し、管理作業時のポットの破損を防止します。
- ④ポットは土中で分解するため、ポットのまま定植でき省力的です。

表1 イチゴ品種‘さちのか’の紙ポット・SSP育苗における花芽分化時期別指数、開花始期及び収穫始期

	花芽分化指数 ^z			定植日	開花始期 ^y	収穫始期 ^x
	9月20日	9月22日	9月26日			
紙ポット	1,2,1	—	—	9月21日	11月14日	1月7日
ポリポット	—	1,0,1	1,2,1	9月27日	11月23日	1月17日

^z 3株調査におけるそれぞれの花芽分化指数。

0:未分化、1:肥厚期、2:分化期、3:花房分化期、4:ガク片形成初期、5:ガク片形成期

^y 頂花の開花日の平均値

^x 頂果の収穫日の平均値



写真1 定植時のイチゴ苗姿
左：紙ポット、右：ポリポット

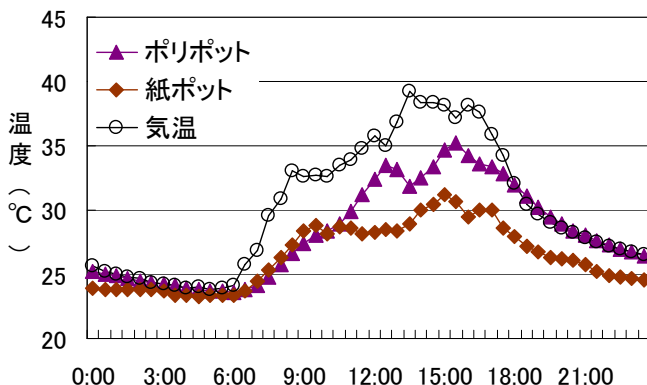


図1 イチゴ育苗中の培地温度^zの推移(平成17年)
調査日:8月18日、^z測定位置:ポット中央部、深さ5cm

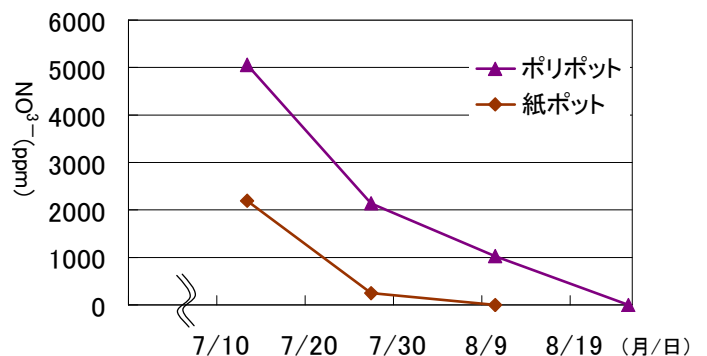


図2 イチゴ育苗中の葉柄中硝酸イオン濃度の推移(平成17年)
^z 新生第4葉の葉柄部分で測定(RQフレックス)

実施年度：平成17年度
担当者：東 卓弥